産業

農林水産業費

Q 農業関連予算が相対的に減額しているようだが、農業を底上げするようなＰＲ活動を、どのように考えているのか。

A 都内で行ってきたＰＲ活動を、農業女性の力を借りながら、深谷テラスで展開していきたいと考えている。

地域通貨導入事業

Q 昨年度比較で予算が大幅に拡充しているが、事業比較で戦略上の違いはあるのか。

A 予算拡充の大部分は、発行するネギーのポイント分である。運営経費については、引き続き縮減に努めていきたい。

Q 行政事業削減効果として、口座振替キャンペーンという実績がある。新年度、新たな展開が図られるのか。

A 地域通貨活用推進のため、プロジェクトチームを組成して検討をしてきた。３月末に市長へ提言を行い、新事業が一つでも多く実施できるように取り組んでいきたい。

防災

防災施設整備維持事業

Q 事業費が2,891万5,000円で、対前年680万円ほど増額となっているが、内容は。

A 災害時の避難場所として一番大きいビッグタートルの防災倉庫を増設するもので、令和元年の台風19号の際、市内に複数ある防災倉庫からビッグタートルに物資の輸送をして対応したが、有事の際、限られた人数での対応となるので、予め備蓄数を増やしておくものである。

Q 備蓄食料品等は、ローリングストック制を採用しているが、どのような割合で交換が行われているのか、そして賞味期限が近くなった物は廃棄しているのか。

A 地震や水害などによる避難者数を想定し、食べ物や水などを中心に約６万食を備蓄しているが、ローリングストックは賞味期限が到来する時期を分散し、６万食を５年間で全て入れ替える形で予算の平準化に取り組んでいる。賞味期限が到来する物の活用は、総合防災訓練や社会福祉協議会と連携し、さまざまな場面で有効活用している。

人事案件

深谷市副市長
長原　一（ながはら　はじめ）

深谷市監査委員
野口　髙一（のぐち　たかいち）

深谷市公平委員会委員
河田　享子（かわた　きょうこ）

深谷市固定資産評価審査委員会委員
江角　勇二（えすみ　ゆうじ）

深谷市教育委員会委員
荒井　泉（あらい　いずみ）

深谷市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙結果

○委　員
新鎧　省一（しんがい　しょういち）
柿澤　孝一（かきざわ　こういち）
田島　茂（たじま　しげる）
野邉　邦男（のべ　くにお）

○補充員
新舩　昇（あらふね　のぼる）
丸山　達雄（まるやま　たつお）
大澤　栄次（おおさわ　えいじ）
吉岡　敏幸（よしおか　としゆき）

人権擁護委員
関根　千鶴子（せきね　ちづこ）
細野　佳司（ほその　よしじ）
鈴木　俊哉（すずき　としや）
岸本　恵子（きしもと　けいこ）

※人事案件は、敬称略

補欠選挙で新議員誕生

1月23日執行深谷市議会議員補欠選挙において、小林真（こばやしまこと）氏が当選されました。なお、所属委員会は産業建設委員会となりました。

議会のうごき

1月 行事内容

26(水) 議員全員協議会
・住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の概要及び対応　など

2月 行事内容

15(火) 議会運営委員会
議員全員協議会
・深谷市地域防災計画の改訂　など
22(火) 議会運営委員会、議会開会、議案説明
予算特別委員会
28(月) 議案質疑

3月 行事内容

2(水) 総務委員会
3(木) 福祉文教委員会
4(金) 産業建設委員会
7(月) 予算特別委員会
8(火) 予算特別委員会
11(金) 一般質問
14(月) 一般質問
15(火) 一般質問
17(木) 議会運営委員会、議会閉会
議員全員協議会
・深谷市ハザードマップの改訂 など

条例

性的指向及び性自認の多様性を理解し尊重する社会の推進に関する条例

全ての市民の人権が尊重され多様な生き方を認め合う社会を実現するため、制定するものです。

Q 市、事業者、教育に携わる者の役割が努力規定としてあるが、事業者への協力の申し入れが重要ではないか。

A 社会全体で推進していくためには、事業者の理解と協力が不可欠なため、深谷商工会議所、ふかや市商工会、深谷寄居医師会に協力を申し入れた。今後、不動産業界などにも協力を依頼し、周知、啓発に努める。

Q 相談体制はどうか。

A 先進地の事例を参考に、専門機関との連携も含め研究する。当事者からの相談には、人権教育専門員２名が対応する。相談員は、研修会に参加するなど適切な対応がとれるように研究していく。

Q パートナーシップ制度についての検討状況は。

A 本条例を根拠として要綱を整理していく。制度の内容は、東京都などの先進事例を基に同様の内容で実施する。利用できる行政サービスは、市営住宅の入居申請や市民税関係の証明書発行など15のサービスについて、配偶者及び親族同様に取り扱う。

補正

令和３年度一般会計補正予算

小・中学校管理事業や障害者自立支援医療費給付事業の増額、各種事業の不用額の減額など、合わせて11億６，５６５万５千円の減額補正です。

Q 地方交付税の増額と、臨時財政対策債の減額の理由は。

A 普通交付税は、国の令和３年度補正予算に伴う再算定の結果、９億３，７００万円の増額となった。この増額は、主に令和３年度の臨時財政対策債に係る将来の償還財源として措置されている。臨時財政対策債は、補正予算全体の財源対策を講じる中で必要な範囲での活用とし、普通交付税増額相当を減額するものである。

新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業

Q 減額となった理由は。

A 申請件数を当初２７３件見込んだが、１月末現在、新規申請１２０件、再支給27件で、金額は当初の半分に達していない。申請が少ない理由は、社会福祉協議会での貸付けを利用し借り切る条件をクリアしていない方が相当数いることや、申請者に預貯金が一定程度あれば支給対象外となることなどが考えられる。

ごみ収集委託事業

Q 減額だが、ごみが減少しているのか。

A 委託契約額の確定による減額である。コロナ禍の影響で家庭ごみは増加傾向であるが、事業系ごみは減少しており全体では微増である。

３月定例会　議案に対する各議員の賛否（一部掲載）

【○：賛成、×：反対】

会派名	深谷同志会											深欅クラブ		深和会			公明党			日本共産党		無会派			審議結果
議員名／議案	小嶋隆	福島秀樹	今井慶一郎	富田勝	茂木一郎	田口英夫	角田義徳	清水健一	柴崎重雄	馬場茂	武井伸一	湯本哲昭	石川克正	永田勝彦	髙田博之	仲田稔	三田部恒明	五間くみ子	中矢寿子	佐久間奈々	鈴木三男	村川徳浩	小林真	加藤利江	
性的指向及び性自認の多様性を理解し尊重する社会の推進に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長（※）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
ひとり親家庭等医療費支給に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
工事請負契約の締結（川本複合施設建築ほか工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
工事請負契約の変更契約の締結（深谷テラス公園整備工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和３年度一般会計補正予算（第11号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和４年度 一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	可決
令和４年度 国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和４年度 後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和４年度 国済寺土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和４年度 ふかや花園駅前土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和４年度 水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和４年度 下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
ロシア連邦によるウクライナ侵攻を厳しく非難し、軍の即時撤退と平和的解決を強く求める決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※議長は可否同数のみ採決に参加します。